

令和7年度 OPEN CAMPUS 模擬授業 一覧

【人間社会学部 人間社会学科】

総合型選抜入試を考えてない方も、もちろん大歓迎！
ぜひ学科の学びを体験してください！

学科・コース	開催日程	担当教員	授 業 内 容
人間社会学科 現代社会コース	5/25(日)	岡島克樹 教授	SDGsのこれまでとこれから ある新聞社の調査では認知度が90%に迫るなど、今や国民的常識となったSDGs。国内外における多様な取組にもかかわらず、169のターゲットのなかで順調に進んでいるのはわずか17%にすぎません。これまでの成果をふりかえりつつ、2030年以降の「ポストSDGs」の世界を考えるために、最近、国連で採択された『未来のための協定』や、現在、日本政府が策定中の『自発的国家レビュー』報告書を軸にしながら、SDGsの最先端を紹介します。
	6/22(日)	久保山力也 准教授	資料への関心を高める社会科の授業構成 現代社会ではさまざまな資料を読み解く力が求められます。この力は社会科教育のなかでも育成されるはずですが、単に資料を提示するだけでは不十分です。この授業では、1枚の資料（長篠の戦い）を参照し、どのような点に着目するのか、またそこからどういうことを抽出するか、最終的な「価値づけ」は何か、について検討し、効果的な授業づくりを考えます。
	7/19(土)	久保山力也 准教授	トラブル解決の方法への興味関心を育てる方法 日本ではよく、トラブルが起きたときに、「関係ないでしょ？」といって、当事者でない人たちを関わらせようとしませんよね。でも当事者でないからこそ、適切な解決案を提示できるかもです。日本社会ではトラブルについて、「みんなの問題だからみんなで解決しよう」という意識が乏しく、はるかに国際基準に達していません。これを克服するための教材開発の方法について、実践教材『提案のちからⅡ』から考えてみましょう。
	7/20(日)	グローガン・マイルズ 准教授	世界の教育：成功の力ギとは？ 文化の面では、シンガポールとフィンランドは大きく異なります。しかし、両国は学術能力に関する多くの国際的な指標において、常にトップの座を維持しています。これらの国々の違いや類似点を理解することは、グローバル化が進む社会を理解する上で重要なステップです。これらの違いについて興味を持つことは、私たちをグローバル人材へと導いてくれることでしょう。
	8/8(金)	岡島克樹 教授	SDGsのこれまでとこれから ある新聞社の調査では認知度が90%に迫るなど、今や国民的常識となったSDGs。国内外における多様な取組にもかかわらず、169のターゲットのなかで順調に進んでいるのはわずか17%にすぎません。これまでの成果をふりかえりつつ、2030年以降の「ポストSDGs」の世界を考えるために、最近、国連で採択された『未来のための協定』や、現在、日本政府が策定中の『自発的国家レビュー』報告書を軸にしながら、SDGsの最先端を紹介します。
	8/9(土)	グローガン・マイルズ 准教授	世界の教育：成功の力ギとは？ 文化の面では、シンガポールとフィンランドは大きく異なります。しかし、両国は学術能力に関する多くの国際的な指標において、常にトップの座を維持しています。これらの国々の違いや類似点を理解することは、グローバル化が進む社会を理解する上で重要なステップです。これらの違いについて興味を持つことは、私たちをグローバル人材へと導いてくれることでしょう。